

# 国語科 授業改善推進プラン

## 1 昨年度の授業改善推進プランの検証

### (1) 成果

○基本的な文章の書き方が身に付いた。

### (2) 課題

○日常的に読書に親しむ姿が見られないこと。

○漢字の学習の定着ができていないこと。

## 2 観点ごとの実態・学習効果測定結果の分析

	1年	2年	3年	4年	5年	6年
知識・技能	<ul style="list-style-type: none"> <li>ほとんどの児童がひらがなを書ける。</li> <li>文章を音読することができる児童が多い。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>音読の能力が身に付いている。</li> <li>漢字の習得率が低い。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>既習の漢字を使って文章を書くことができない。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>目標値とほぼ等しい。</li> <li>漢字の習得や文章の書き方の知識理解が不十分。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>目標値より大きく下回っている。</li> <li>既習の漢字の読みと書きが定着していない。</li> <li>言葉の知識や理解、漢字辞典の使い方が不十分である。</li> <li>登場人物の気持ちを捉えることはできている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>目標値より5ポイント程度上回っている。</li> <li>既習の漢字習得に個人差が大きく、漢字の読みが目標値に到達していない。</li> <li>普段のノート記入に漢字を使わない児童が一定数いる。</li> </ul>
思考・判断・表現	<ul style="list-style-type: none"> <li>「いつ、だれと、なにを」など長い文で話せるようになってきた。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>簡単な話題や内容であれば、話したり書いたりする表現ができる。</li> <li>文章の内容を読み取る力には、個人差が見られる。</li> <li>落ち着いて話を聞けるが、大事なことを聞き取る力には個人差がある。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>相手に伝わるように理由や事例を挙げながら、話の構成を考えられる。</li> <li>相手を見て話したり、聞いたりすることができる。</li> <li>自分の考えをもち、表現することに課題がある。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>目標値より5ポイント程度下回っている。</li> <li>叙述をもとに自分の考えをもったり、筆者・作者の考えや主張を読み取ったりすることに課題がある。</li> <li>書くことの領域では、段落構成、自分の考えを表現することに課題が見られた</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>目標値より大きく下回っている。</li> <li>意見の共通点、相違点に着目した聞き方に課題がある。</li> <li>中心となる語や文を見つけて要約すること、構成を意識した文章を書くことに課題がある。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>目標値とほぼ等しい。</li> <li>書く能力が目標値を下回っている。自分の考えを言葉にすることや、筋道立てて文章を書くことを苦手としている児童が多い。</li> </ul>
主体的に学習に取り組む態度	<ul style="list-style-type: none"> <li>音読の練習をすすんで行いすらすらと読めるようになってきた。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>読書への意欲・関心は高く、本に親しんでいる。</li> <li>漢字や音読の練習には、熱心に取り組んでいる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>幅広く読書している児童は少ない。</li> <li>思いや考えをすすんで伝え合おうとしている児童が多い。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>目標値より大きく下回っている。</li> <li>読書には親しみ、おすすめの本を紹介することはできる。</li> <li>読書の幅が偏っている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>目標値より大きく下回っている。</li> <li>読書に対する意欲が低い児童が多い。</li> <li>読むことに苦手意識が高い。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>目標値より2ポイント下回っている。</li> <li>日常的に読書に親しむことができるようになってきた。</li> <li>記述問題に対して苦手意識があり、問題に取り組めない児童が一定数いる。</li> </ul>

## 3 課題と授業の改善策

	1年	2年	3年	4年	5年	6年
課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>助詞（は、を、へ）や促音（っ）を書くこと。</li> <li>筆順を意識すること。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>漢字の習得率を上げること。</li> <li>促音や拗音、助詞、漢字を正しく表記すること。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>漢字の習得率を上げること。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>漢字の習得率を上げること。</li> <li>漢字や作文の基本的な書き方を理解すること。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>漢字の読み書き、言葉の基礎的な知識を定着させること。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>漢字の読み書き、言葉の基礎的な知識を定着させること。</li> </ul>

	思考・判断・表現	<ul style="list-style-type: none"> <li>話を最後まで聞くこと。</li> <li>自分の考えをもつこと。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>文章の内容を読み取ること。</li> <li>書く内容を整理して文章に表すこと。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>話の中心を捉えて聞いたリ、メモを取ったりすること。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>叙述をもとに自分の考えをもったり、筆者・作者の考えや主張を読み取ったりすること。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>読み取ったことを要約したり自分の言葉で書いたりすること。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>説明文の構成をとらえて読み取ること。</li> </ul>
	主体的に学習に取り組む態度	<ul style="list-style-type: none"> <li>文字を正しく読んだり書いたりすること。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>漢字を使って書こうとすること。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>幅広く読書をする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>書くことに苦手意識をなくすこと。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>意欲的に読書をする。</li> <li>自分の考えを伝えるための語彙が少ないこと。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>自ら課題を設定したり、自分の考えを表現しようとしたりすること。</li> </ul>
授業の改善策	知識・技能	<ul style="list-style-type: none"> <li>助詞や促音を書けるようにするために、書写の時間や副読本を活用していく。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>書写や短作文、小テストの学習で、漢字や助詞等を正しく表記できるよう練習を重ねていく。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>漢字学習を重視し、朝学習の時間を有効活用していく。</li> <li>漢字の学習の場面で漢字辞典を活用していく。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>漢字の部首や意味を確かめながら、練習を重ねていく。</li> <li>自分の考えを書き表す機会を設定していく。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>漢字のきまり等を意識させながら漢字の練習を重ねていく。</li> <li>国語辞典や漢字辞典を日常的に使い、掲示等もしながら語彙を増やしていく。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>既習漢字を音読する活動を取り入れる。</li> <li>基本的な文章構成や指示語・接続語のはたらきについて理解させる。</li> </ul>
	思考・判断・表現	<ul style="list-style-type: none"> <li>少人数での学習形態を取り入れ自分の考えを伝え、人の話を最後まで聞くようにする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>文章を読み取る学習で、人物や場面の様子や説明の内容を正しく読み取る力を身に付けさせていく。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>「はじめ・なか・おわり」を常に意識し、自分の言いたいことや考えたこと、感じたことなどを工夫して書くように指導をする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>接続語や文章中に繰り返してくる言葉に着目させ、内容の中心を捉えさせる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>自分の考えを書くことを日常的に取り入れ、気持ちを表す語彙を増やしていく。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>読む活動や書く活動において文章全体の段落構成など、既習事項おさえながら活動させる。</li> </ul>
	主体的に学習に取り組む態度	<ul style="list-style-type: none"> <li>授業の導入を工夫し、学習に興味をもたせる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>短作文や観察カードの記録を書く活動で、正しく漢字を書いたり表記をしたりする意識付けを図っていく。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>教科書に出てきた物語の著者や、有名な著者の本の紹介をしたり、読み聞かせをしたりしながら、読書の楽しさを味わわせる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>スモールステップで学習を進め、「できた」という経験を積み、自信につなげる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>読み聞かせやブックトーク、ビブリオバトル等の読書活動を計画的に取り入れ、幅広く読書に親しませる。</li> <li>伝統的な言語文化に触れる活動を通して、言葉一つ一つに立ち止まり、言葉の面白さを味わわせる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>目的に応じて文章を読んだり書いたりする活動を通して、課題に取り組む意欲を高める。</li> </ul>